



クリーンエネルギー自動車の導入補助金



2050年カーボンニュートラルの実現に向けて、環境性能に優れ、災害時にも非常用電源として活用可能な車両の需要創出および充電・水素充填のインフラ整備を全国各地で進めることを目的とした補助金です。

対象車種 ^{※1}		令和4年度補正予算 「クリーンエネルギー自動車導入促進補助金」	
		グレード・条件	
補助金額	CENTURY ^{※2}	プラグインハイブリッド	44万円
	CROWN ^{※2}	燃料電池車	136.3万円
	MIRAI ^{※2}		145.3万円
	bZ4X ^{※2}		85万円
	HARRIER ^{※2}	プラグインハイブリッド	55万円
	PRIUS ^{※2}	プラグインハイブリッド	55万円
	RAV4 ^{※2}	プラグインハイブリッド	55万円
	C ⁺ pod	全グレード	外部給電機能有り ^{※3}
外部給電機能無し ^{※4}			25万円
対象要件		対象車両 ^{※1} の新規購入	
補助対象者		個人、リース会社、民間事業者(法人)、地方公共団体 ●自家用(白・黄色ナンバー)のみ対象 ●割賦販売車両、リース販売車両も対象	
補助対象期間		令和5年4月1日～新規登録分	
申請書受付期間		令和5年3月23日開始 補助金予算が無くなり次第、申請受付が終了となります。	
保有義務期間		車両:4年 ^{※5}	
留意点		<ul style="list-style-type: none"> ●国が実施する他の補助金と重複した申請はできません。 ●地方公共団体が交付する補助金は併用できません。地方公共団体の補助制度・金額等についての詳しい内容は、事前に必ず各公共団体にご確認ください。 ●保有義務期間内に車両や機器を処分した場合など、要件を満たしていないと判断された場合、補助金の返納が必要です。詳細は次世代自動車振興センターHP (http://www.cev-pc.or.jp) をご確認ください。 	

※1 コムスは対象です(詳しくは販売店へご相談ください)。 ※2 全グレード「外部給電機能付き」の対象です(MOP追加等の必要なし)。外部給電機能付きの定義は、車載コンセント(1500W/AC100V)から電力を取り出せるもしくは、外部給電器やV2H充放電設備を経由して電力を取り出せることです。 ※3 標準装備のアクセサリコンセント装着時は「外部給電機能有り」の金額となります。なおシェアカー等のサービス利用の場合は45万円になります。 ※4 アクセサリコンセントレスオプション選択時は「外部給電機能無し」の金額となります。なおシェアカー等のサービス利用の場合は35万円になります。 ※5 レンタカーは3年の場合もあります。

■掲載の内容は2023年11月のもので、予告なく変更となる場合がございます。